



皆様、いつもお世話になっております。今年は新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止となりました。議会報告会も開催が叶わず、皆様のお顔を拝見する機会が大きく減って、とても心苦しく感じております。これらの季節、どうかインフルエンザなどにも気を付

チャレンジ奄美一同

けておすごしく下さい。とはいえ、市民の皆様にとつての「政治との接点」をいかに増やすか、という命題を私たちチャレンジ奄美も常に考え続けています。このチラシもそうですし、定期的に行う朝の街頭活動やインターネットの活用もそうです。電話での相談や感染症対策を十分に取ながらの対面での相談もできる限りお引き受けしています。

来年はきつと、感染症に気を付けながらも「人と人の接点」が戻ってくる。そう信じて、コロナ禍においても皆様と政治との距離を少しでも近づける努力を続けてまいります！

議会 令和2年第3回(9月)定例会に トピックス における主な議案について

- 2年度一般会計補正予算第5・6・7号(計5億1643万円の増額) ⇒結果、一般会計総額は398億7274万円。その主な内容は、
- ①奄美観光受入体制構築・誘客促進事業1億899万円：奄美特産品プレゼントキャンペーン事業(旅行者にカタログギフトを進呈)、自然環境調査保全事業(外来種駆除・ダイビングと市民参加型体験プログラム)、地域交通でおもてなし気運演出事業(バスのラッピング)
- ②緊急経済対策プレミアム商品券「ほーらしゃ券」発行事業助成金8150万円：4000円で5500円分の商品券が買える(プレミアム率37.5%)、5万冊発行、11月1日より発売予定
- ③奄美の魅力まるごと発信事業2600万円：お家で奄美デジタル博物館事業(奄美博物館の高精細映像を制作)、生物多様性の島「奄美大島」の魅力発信事業(多言語で映像制作・情報発信)
- ④事業所支援給付金(市独自の新型コロナ対策)と水道・下水道基本料金減免措置の期間延長(対象期間を12月まで延長)
- ⑤災害避難所の感染予防対策1100万円：間仕切り・簡易トイレ・段ボールベッドなど購入
- ⑥新型コロナ感染拡大防止水際対策業務負担金482万円：県と大島5市町村が連携し、奄美空港・名瀬港における水際対策を県が一括して民間委託
- ⑦世界自然遺産登録メディアジャック事業負担金5000万円：登録後を見すえ、新聞・雑誌・機内誌・

- SNSなどを活用して大々的に宣伝⑧市民向け宿泊・体験プログラム利用支援事業負担金2439万円・補助金2000万円：第一弾での不足分と新規の第二弾分(大島5市町村での共同実施を検討中)
- ⑨奄美大島の魅力普及啓発事業負担金3000万円：大島紬を活用した小物や自然環境保全に資するエコバッグなどを旅行者に進呈
- ⑩乗って応援「貸切バス」利用促進事業補助金1000万円
- ⑪奄美市加工品販路拡大支援実証事業補助金300万円：農林水産物加工品・大島紬・黒糖焼酎などの販路拡大に資する費用を最大20万円補助
- ⑫第75回国民体育大会相撲競技運営業務委託料1億3310万円・運営負担金2000万円の減額(令和5年に開催決定)
- ⑬9月6日頃の台風10号にかかる費用7203万円：災害復旧費用や福祉避難所利用負担金など
- 国民健康保険事業・水道事業など5特別会計・企業会計の補正予算
- 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情 ⇒ 不採択
- 奄美大島5市町村長連名・在日米軍機安全飛行に関わる九州防衛局提出要請書の実効性を高めるための奄美市議会要請書提出を求める陳情 ⇒ 不採択
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書提出の発議 ⇒ 可決
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出の発議 ⇒ 可決

安田そうへいの



ご報告

後、業界団体や国・県・群島他町村と連携・調整を図り可能性の模索をと考えています。

奄美群島、子どもたちが群島内での交流を深め、お互いを知る一助となることを願っています。

援を行うとのこと。事業所の魅力向上や事業拡大、人材育成への取組にも期待しています。

1 農林水産物等 輸送コスト支援

奄振交付金を活用した本支援事業は昨年度より加工品・原材料にも拡充されましたが、昨年度の利用実績は予想を大きく下回りました。加工品について奄美市では粗糖・黒糖焼酎・飲料水の3品目を補助していますが、合計で505万円、予算執行率は58%でした。コンテナ輸送のみ補助対象となるため、市内にある黒糖焼酎蔵元の一部しか利用できないのです。この恩恵を広めるためにも、黒糖焼酎製造用の原料米・新ビニール段ボールなどの原材料の輸送にも補助できるような制度拡充を提案しました。今

2 島内・群島内での 小中学生修学旅行

これも奄振交付金を活用した「航空・航路運賃軽減事業」について、新型コロナウイルスの影響で4月から7月の利用は激減。JALグループの群島路線で前年度比4割、航路で同じく3割弱の実績です。この輸送実績からも予算の執行残が多く生じるのではないかと危惧されます。これを奇貨として、島内・群島内での小中学生修学旅行の催行・誘致の支援を提案しました。結果として、今年度に限り、大島を除く群島内からの修学旅行も「奄美満喫ツアー助成事業」の対象としていただきました。多様性が魅力の

3 副業支援

ウイズ・コロナの時代において、テレワークなど働き方改革とともに重要な副業への支援。資格や特技を活かした収入向上の面からも注目されています。奄美市でもコロナ対策における「副業応援助成金」を導入。業務を縮小せざるを得なくなった事業所の従業員を短期間の副業として受け入れた事業所に人件費の一部を助成します。受入可能事業所を市のホームページで公表し、7件の利用がありました。今後は大島5市町村が関わる「奄美大島雇用創造協議会」が主体となり、副業を含めた就職支



「奄美大島雇用創造協議会」の前身団体(奄美産業活性化協議会)が入居する小俣町集会所の建物(旧県立図書館奄美分館)。今後、同協議会は浦上町の奄美市産業支援センター(旧県大島袖技術指導センター)に拠点を移し、大島全体の雇用創造に向けて活動します。

○まさのたくやプロフィール



●昭和46(1971)年生まれ、48歳
●総務企画委員会委員等、
現在1期目
連絡先：奄美市名瀬伊津部町13-11
携帯電話：090-9573-6619

Eメール：komeyamasano@gmail.com

○安田そうへいプロフィール



●昭和54(1979)年生まれ、41歳
●産業建設委員会委員等、
現在3期目
連絡先：奄美市名瀬小俣町29-32
携帯電話：090-3546-7031

Eメール：sohei@mskj.or.jp



まさのたくやの ご報告

1 最強台風10号 避難所運営

テレビ等で沢山注意を促したこともあり、今回の台風10号では2500人が避難所へ避難をされたようです。市役所職員の頑張りもあり、避難所では大きな混乱はなかったようですが、この経験を最大限に活かして避難所での受け入れ態勢をより充実してもらえよう要望していききたいと思えます。

2 色々な世代の 居場所としての集会所

笠利・住用・旧三方地区は住民間の親睦があり関係性は築かれています。が、名瀬地区には自治会や集会所

もない地域もあり、人とのつながりは希薄化しています。ですが、災害時や弱い立場の人のことを思うと、色々な世代のたまり場的な居場所づくりが必要ですので、皆さんの知恵や力を借りて地域の交流が発展していくように努力していきたいと考えています。

3 三儀山50mプールの 可能性

現在50mプールは使用できませんが、使えるようになれば、県のスポーツ少年団の大会や、大人の県体も誘致できる可能性があります。合宿誘致の面では、屋外50mプールということ

(照りつける太陽・強風・急な雨など室内では経験できない)で訪れた日本学生選抜の皆さんたちに大変好評だそうです。合宿の際は島の子供たちも練習に混ぜ

てもらい、技術はもちろん、練習への取組を体感できます。このトップスイマーを知る経験は島の子供たちにとつて大きな財産となりま

す。いつか島からも日本のトップを狙える選手が現れるかもしれませんね。その先の大きな夢も見せてくれる日が来るかもしれません。まず、奄美で唯一の50mプールが使用できる状態になることを目指して、その可能性を探していきたいと思えます。

4 あまみFM、 非常用自家発電 設備の導入

あまみFMは、台風時、停電になると強風の中電波塔のある山中まで発電機を持って電気をつなぎに行つて放送している危険な状況です。今回、非常用の自家発電の導入を検討していた

だけるといふことですので進捗を確認していきたいと思えます。

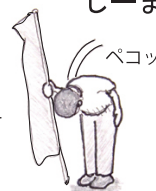


非常用自家発電設備のサンプルです。これを有屋山上の親局に設置できれば、台風時でも安定的に放送することができます。実現に向けて、議会からも後押ししていきます。

- お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたらお寄せください！皆様のお声が、私たちチャレンジ奄美の活動の源になります
- 本チラシの「配布ボランティア」を募集しております

- SNS(フェイスブック、ツイッター)やしーまブログでも活動情報発信中です！各議員名でご検索ください

よろしくお願いします！



ゆげ洋平の

ご報告



1 住用から名瀬までバス通学する高校生が満員のために座れない状況

戸玉から市へ向かう道路でひび割れが生じ、車で通行する際に避けて通るため大回りしている状況にある。対向車が来ると危険である。来年度に予算を上げ、検討することとした。

3 台風10号による市道山間・市線の道路冠水

緊急浚渫推進事業を活用し、市の大川・幸田川の寄洲除去を実施予定であるとのことでした。

4 住用町内海公園自由広場バスケットゴール下の舗装

8月1日より使用開始になりました自由広場のバスケットゴール下が砂利のため、ドリブルもできない状態です。検討課題とのことでしたので引き続き強く要望してまいります。

5 高校生のバス通学助成金

現在、住用町からバス通学する学生に定期券額の3分の1の助成。笠利から名瀬へ通う学生は、助成なし。大島北高校に通学する学生は3分の2の助成があります。このことについて令和元年度決算委員会で質問しました。大島北高存続のための3分の2の助成金は、大変喜ばしいことだと思います。その一方、笠利から名瀬の助成金がなく、中学卒業と同時に龍郷町へ転居してしまう現状があります。龍郷町は定期券代全額を助成しています。住用町においても両親の職場が名瀬だと、卒業と同時に転居する世帯もあるようです。弟や妹がいるとなると小・中学校の生徒も減少してまいります。住用町・笠利町の人口流動の原因の一つで

あると考えますので、助成金の創設・増額など要望してまいります。



台風10号の影響による市道山間・市線の道路冠水状況です。満潮時とも重なりました。改善に向けた働きかけを続けていきます。



○ゆげ洋平プロフィール

- 昭和61(1986)年生まれ、34歳
 - 文教厚生委員会委員等、現在1期目
- 連絡先：奄美市住用町見里27
携帯電話：090-5736-2105

Eメール：yugeyouhei@gmail.com